

第3回太平洋・島サミット開催

去る5月16、17日の両日、万国津梁館を会場として「第3回太平洋・島サミット」が開催され、太平洋諸島13カ国2地域の首脳と開催国である我が国から小泉総理が参加し、首脳会議が行われました。沖縄県では、本県の自然、歴史、文化の紹介や県民との触れ合いを目的に支援事業を実施しました。

1 太平洋・島サミットとは

太平洋・島サミットは、太平洋諸島フォーラム(Pacific Islands Forum=略称PIF)に加盟する十四カ国(今回はナウル共和国が欠席のため十三カ国が参加)と二地域及び開催国の日本の首脳が一堂に会し、各国が直面する様々な課題への取り組みや、協力のあり方について意見交換を行う国際会議です。

参加国の多くは、国土や市場規模が小さく、経済的な困難や安全保障上の不安、温暖化に伴う海面上昇の影響による国土水没の危険性、これからの時代を担う人材の不足や廃棄物処理対策等、様々な課題を抱えています。

これまでに同サミットは、第一回会議が東京都(1997年)、第二回会議が宮崎県(2000年)で開催され、様々な課題が検討されてきました。

三回目となった今回のサミットは、昨年十一月、沖縄県での開催が決定されました。我が国で唯一の亜熱帯地域、島嶼であり、参加各国と多くの共通点を有することから、島嶼地域に共通する課題を検討するのにふさわしい場

所である本県での開催には、大きな注目と期待が寄せられました。

2 首脳会議

初日の十六日(金)、万国津梁館オシャンホールにおいて開会式が行われ、共同議長を務めた小泉総理とガラセ・フィジー諸島共和国首相のあいさつに続き、地元を代表して稲嶺県知事が「太平洋・島サミットが本県で開催され、皆様をお迎えすることができてうれしく思う。今回のサミットを機に、友好関係を一層発展させ、各面で持続的発展に貢献する場としての役割を果たしていきたい」と、歓迎のあいさつを述べました。

サミットホールに場所を移しての第一セッションでは、テロ対策や国際犯罪の抑止、新型肺炎(SARS)感染拡大への警戒等について意見交換が行われました。

翌十七日(土)の第二セッションでは教育・人材育成が議題となり、通信衛星回線を利用した南太平洋大学(フイジー)とのテレビ会議も実施されました。続く第三セッションにおいては環境保護が取り上げられ、サンゴやマ

ングロープ保護について、本県やNGOの経験を活用することが強調されました。

会議の最後に、2004年の国際珊瑚礁シンポジウムの本県開催や、我が国と太平洋地域との協力の継続などが盛り込まれた「沖縄宣言」と、共同行動計画からなる「沖縄イニシアチブ」が採択されました。

3 NGOパネル展示

会議会場に隣接するサンセットラウンジでは、環境保護や資源のリサイクル、生活習慣病への対策、太平洋地域と沖縄との交流等をテーマにしたパネル展示が行われました。

県内から、海と渚保全会、沖縄リサイクル運動市民の会、両NPO法人(社)日本糖尿病協会沖縄支部、琉球大学アジア太平洋島嶼研究センター、国際協力事業団沖縄国際センターの五つの機関が出展し、各国首脳は質問を交えながら熱心に見学されました。



4 沖縄伝統芸能披露

十六日(金)夜の小泉総理主催晩餐会に引き続き、琉球舞踊、空手による沖縄伝統芸能紹介が行われました。「四つ竹」で優美に幕を開け、空手の模範演技、鍛錬方が披露されると会場は一気に緊張感に包まれました。その後「谷茶前」の軽快な踊りで、一転して和やかな雰囲気となり、最後は各国首脳、小泉総理も参加してのカチャーシーで、盛況のうちに閉会となりました。

5 夫人プログラム

今回のサミットで各国首脳とともに来県された首脳夫人一行に対し、首脳会議開会時間を利用して、美ら海水族館、琉球村へのご案内を行いました。美ら海水族館では、ジンベイザメの雄大な姿や、色鮮やかな魚の群れが水槽の中を泳ぎ回る姿を、興味深く観覧されました。また、琉球村では力チャイシーや紅型衣装を着ての記念撮影を堪能された様子でした。

6 県知事主催昼食会

十七日(土)の首脳会議終了後、知事主催による昼食会が開催されました。県内からは、青年海外協力隊活動や各種交流事業を通じて太平洋諸島への派遣及び留学経験を有する方々や、太平洋諸島から来県された研修生をはじめ多くの関係者が出席しました。かりゆしウェアに身を包んだ出席者は、長寿をテーマに、県産食材を使用した料理に舌鼓を打ちながら、終始和やかな雰囲気の中で歓談を楽しみました。

7 県民交流会

十七日(土)午後には、首里城公園において県民交流会が行われました。城西小学校五、六年生の児童生徒をはじめとする大勢の県民による歓迎を受けた後、パプアニューギニアのソマレ首相と稲嶺知事が、平和と友好を祈念して万国津梁の鐘つきを行いました。下之御庭での児童による空手演武を鑑賞した一行は、琉球国王・王妃役による出迎えを受けて御庭へ移動し、正殿をバックに記念撮影を行い、二日間の全日程を終了しました。

8 第3回太平洋・島サミットを終えて

今回の首脳会議では、我が国と太平洋地域が直面する課題への取り組みに対して活発な議論が交わされ、会議の成果をまとめた「沖縄イニシアチブ」を採択し、我が国と太平洋地域との協力関係の強化に向け、大きな成果を上げました。沖縄県にとっても、これまで比較的交流の機会が少なかった国や地域の首脳の本県に併い、太平洋地域との今後の交流促進へ新たなネットワークが構築されると同時に、2000年G8サミットに続く大規模な国際会議の開催受入により、今後の国際会議誘致・開催へ向けた貴重な経験の蓄積にもつながりました。

本サミット開催を通じ、本県の自然や歴史、文化、そして県民の美ら心を世界へ発信できたことは、首脳会議の成功とともに、本県にとって非常に意義の深いものとなりました。



- 写真説明
- ① 開会のあいさつを行う小泉総理
 - ② 活発な意見が交された首脳会議(第1セッション)
 - ③ NGOパネル展示を見学する首脳一行
 - ④ プセナテラスでの瀬喜田小学校・幼稚園児童による出迎え
 - ⑤ 首里城正殿前での記念撮影
 - ⑥ 美ら海水族館での首脳夫人一行
 - ⑦ 紅型衣装に身を包んで記念撮影(琉球村)

お問い合わせ 県国際交流課 TEL (098) 866-2479 FAX (098) 869-9073